

(件名) サハリン州及びロシア主要都市における新型コロナウイルス感染拡大対策について

1 感染状況(第3波)

- サハリン州の6月末現在の累計感染者数は2万4545人、累計死亡者数は66人です。
6月末を基準とした直前2週間の1日当たり新規陽性者数は65.3人(人口10万人当たり13.4人)と高水準で、7月に入ってから、毎日80人前後の新規陽性者が確認されています。
- 首都モスクワでは、6月末を基準とした直近2週間の1日当たり新規陽性者数は7451.5人(人口10万人当たり58.7人)。第2の都市サンクトペテルブルクでは、直近2週間で1,159.1人(人口10万人当たり21.4人)と、極めて高水準の状況です。

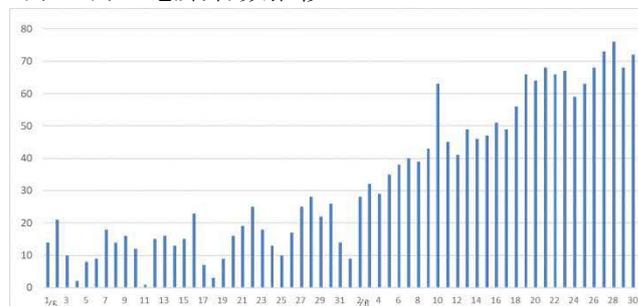
サハリン州における1日の新型コロナウイルス陽性者数(人)

6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23
49	56	66	64	68	66	67
6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30
59	63	68	73	76	68	72

2週間平均陽性者数：65.3人(6月30日現在)

(データ元：ロシア連邦消費者権利及び福祉監督庁ホームページ)

5月-6月の感染者数推移



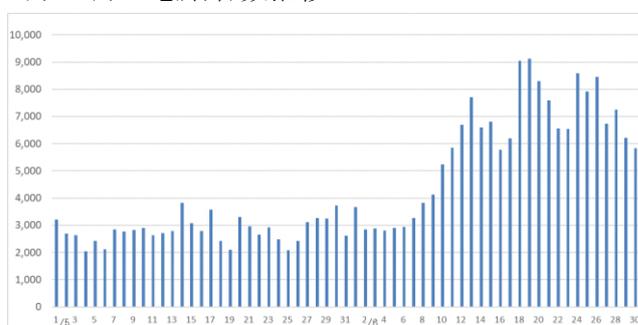
モスクワ市における1日の新型コロナウイルス陽性者数(人)

6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23
6,195	9,056	9,120	8,305	7,584	6,555	6,534
6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30
8,598	7,916	8,457	6,723	7,246	6,209	5,823

2週間平均陽性者数：7,451.5人(6月30日現在)

(データ元：ロシア連邦消費者権利及び福祉監督庁ホームページ)

5月-6月の感染者数推移



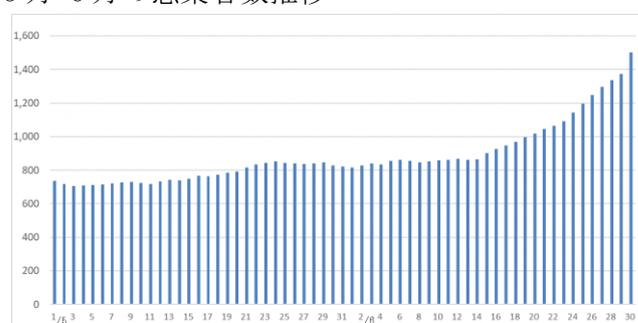
サンクトペテルブルク市における1日の新型コロナウイルス陽性者数(人)

6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23
946	970	996	1019	1,046	1,065	1,092
6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30
1,143	1,194	1,247	1,298	1,335	1,374	1,503

2週間平均陽性者数：1,159.1人(6月30日現在)

(データ元：ロシア連邦消費者権利及び福祉監督庁ホームページ)

5月-6月の感染者数推移



- ロシア全体では、「デルタ株」が中心となっていますが、サハリン州では報道によると、未だに従来の武漢型が中心と言われていますが、7月に入りデルタ株の感染者が初めて確認され、今後の感染拡大が懸念されます。



- ロシアは国内で 4 種類のワクチンを製造しており、州人口 48 万 5621 人に対し、12 万 7585 人 (26.2%) が 1 回以上の接種を受けています(7 月 12 日時点)。接種対象者の 42.2% が抗体を保有しているとされていますが、秋までにこの 免疫獲得率を 60% にすることを政策目標としています。予防接種の申込は、州政府ホームページ・フリーダイヤルのほか、直接診療所に相談する方法があり、いち早く、手軽に接種できる体制が整備されていると言えます。

ユジノサハリンスク市内では全ての外来診療所で接種が受けられ、ショッピングモールや公園には移動式の接種所もあり、ちょうど日本の献血のようなイメージです。この移動式接種所は、市内の各市町村にも派遣されています。

2 感染防止対策・経済活動の制限

- 感染防止対策・経済活動の制限

サハリン州では感染第 2 波の到来に伴い、昨年 12 月 20 日以降、飲食店・興行施設の 23:00～6:00 の営業が禁止されました。また、飲食店や閉鎖された空間でのイベントは、座席の間隔を 1.5 m 以上確保することとされていましたが、今年 2 月、感染が一旦鎮静化したことから、これらの規制は撤廃されました。スプートニク V を初めとするワクチンの完成に伴い、政策の軸足は、経済活動の制限ではなく、集団免疫の形成にシフトしています。

- 予防接種を受けるかどうかは、個人の自由とされていますが、事業者は勤務する従業員の 60% 以上に接種を受けさせなければならないこと、この条件に満たない場合、未接種の従業員を休職させなければならないとされています。既往症や医療上の問題がない限り、実質的に接種を義務付けるもので、当地では労働法上、従業員の「解雇」は難しいと言われている中、非常に厳しい規制といえます。

- 感染第 3 波の到来に伴い、サハリン州政府は、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の励行について、市内施設・事業所への抜き打ち検査を強化しています。また、多くの人が集まる場所では、一人につき 4 m² の面積を確保するよう通達されています。

- 7 月に入り、州内での 50 人以上の屋内集会を禁止する知事令が発令されました。なお、ユジノサハリンスク市内では屋外イベントも参加者を 50 人以下としなくてはならず、また、事業所の消毒を行うことも義務化されました。

- 一方、モスクワ・サンクトペテルブルク両市では、6 月に入り経済活動制限を再導入しました。

○モスクワ市での主な制限

フードコート・動物園・キッズルームの営業停止

23:00～6:00、飲食店(テイクアウト・宅配は可)、クラブ・バーの営業停止

市が定める公園や遊園地の使用中止

従業員 3 割のリモートワーク・通勤抑制(推奨)

従業員へのワクチン接種(推奨)

○サンクトペテルブルク市での主な制限

外食施設でのイベント禁止

レストラン・カフェのキッズルーム閉鎖

フードコートの営業禁止(駅・空港除く)

2:00～6:00 のレストランの営業停止(テイクアウト・宅配は可)

ショッピングセンター内の娯楽施設(キッズルーム等)や売店(屋台)の営業停止

映画館やイベントの収容人数制限

3 企業向け経済支援対策

- 上記のとおり、経済活動制限よりもワクチン接種の普及を重点施策としており、サハリン州独自の経済対策は目立ったものはありません。
- 酒類を提供する飲食店等も通常どおり営業しています。
- 小職が4月に赴任した当時は感染が鎮静化しており、ほとんどの市民がマスクをしていませんでしたが、現在、スーパーなどではマスクをしていないと会計時に注意されます。マスクを持っていない場合はその場で購入・着用させられます。
- 企業向け支援策については、厳しい営業制限が導入されたモスクワ・サンクトペテルブルク両市についても同じことが言えます。中小企業は、従前より導入されている低利融資や減税等、連邦の支援策を活用することが中心となります。感染の勢いは衰えませんが、飲食業界の批判の声も根強く、モスクワ市では7月19日以降、上記の制限が徐々に緩和される見通しです。

4 報告者所感

7月8日、市内で痛ましい事故が発生しました。中学生の女の子が公園のブランコで遊んでいたところ、鎖がちぎれ、大けがを負ったというもの。サハリンというと、インフラの老朽化が何かと話題になりますが、その後の州政府のリアクションは迅速でした。7月15日までには、市内の全公園の遊具の状況・修繕の要否を調査し取りまとめるとのことでした。

サハリン州で暮らしていると、その迅速・的確な行政サービスを目の当たりにします。ワクチンの申込みも簡単。市内に多数の接種ポイントがあり、接種後はQRコードが与えられ、予防接種を受けた証明にアクセスできます。

目下の感染状況は極めて厳しいですが、集団免疫を達成しコロナを克服する日はそう遠くないと感じます。

- 市内診療所にて予備検診とワクチンの接種が受けられます。写真のような移動式ワクチン接種所も、3か所のショッピングセンター、2か所の公園に配備されています。



- 市内循環バスは徹底的に消毒されています。このためバスの利用客は手の消毒義務が免除されます。もちろんマスク着用は必須です。

